

令和3年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ロールプレイング等を活用し、体験を通して自分の考えをもったり友達と交流したりできていて、有効であった。
- ・調理手順や裁縫の基礎的・基本的な技能が身に付くように、ICTを活用し動画を見せることでどのようにすればよいか理解できる児童が増え、有効であった。
- ・家庭での実践例を交えながら授業を展開していくことで、より深く理解できる児童が増え、有効であった。

(2) 課題

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、家庭での調理実習を宿題に出したが、食材の切り方の理解が難しい児童が見られた。

2 授業改善のポイント (観点別)

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な技能が身に付くように、スモールステップで課題を設定したり、1時間当たりの目標を明確にしたりして、段階的に学習を進められるようにする。(指導計画) ・調理の手順や裁縫の基礎的・基本的な技能が身に付くように、ICTを活用したり、インターネットの動画を利用したりして実際の動作を見せる。(授業構成) ・知識や理解がさらに深まるよう、既習の事柄をもとにして考えることができるよう助言したり、グループで話し合ったりする授業展開にする。(授業構成・授業形態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えや作品をもとにして、新しい考え方や発見ができるように、話し合う時間や鑑賞する時間を十分に確保する。(授業形態・指導計画) ・友達との交流を踏まえ、自分の考えを練り直したり、修正したりする時間を確保する。(指導計画・授業構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ではどのように役立つのか、家庭での実践例を交えながら授業を展開していき実践する喜びを味わわせる。(授業構成) ・活動に主体的に取り組むことができるように、1時間あたりの活動内容を明確に設定する。(指導計画・授業構成)

3 今年度の授業改善推進プログラムの検証

(1) 成果

- ・家庭での実践的課題を出すことにより学習内容を主体的に取り組む児童が増えた。
- ・ICTを活用し動画を見せることで調理手順や裁縫の基礎的・基本的な技能が身に付くように、理解できる児童が増え有効だった。
- ・スモールステップで課題を設定し段階的に学習を進めることにより、裁縫の基礎的・基本的な技能が身についた児童が増え有効だった。

(2) 課題

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、グループでの調理実習ができていないため、友達と協力して調理することや時間内に終わらせることへの指導が必要。